

四、第一小隊北谷村東方陣地輕掩蓋機、圍籠、構築
 五、第二小隊比謝據点西側台地、前日、引續キ各箇掩
 体及交通壕、構築
 六、第三小隊比謝據点西側台地、各箇掩体及交通壕、
 構築
 七月二十日
 水曜日
 晴
 宿營地
 中頭郡
 嘉手納町
 古堅國民

一、各小隊長作業細部、協定シ、偵察、夕々、間係中隊ニ至リ
 夕刻歸隊ス
 二、各小隊人員中、一部ヲ以テ、駐營準備残余、人員ヨシテ、七記、
 如ク作業ヲ實施ス
 三、第一小隊北谷村東方陣地、輕掩蓋機、圍籠、構築
 四、第二小隊比謝據点西側台地、各箇掩体及交通壕、構築
 五、第三小隊比謝據点西側台地、各箇掩体及交通壕、構築
 六、佐藤隊長以下四名、比謝町鍛冶工場、於テ、器材、作

陸軍

學校
 中頭郡
 古堅國民

一、日命 第二十三號
 獨之混成第三聯隊司令部
 七月二十日
 金曜日

一、中頭郡、築城、爲、各隊ニ爆破作業ヲ修得セシムトス
 二、各隊ハ、爆破作業、修業者トシテ、中隊ヨリ、將校一、各小隊
 ヲ下シ、官一、兵三ヲ差出シ、工兵隊長、指揮ヲ受ケンバシ
 三、工兵隊長ハ、各守備隊ニ到リ、前項教育ヲ實施スベシ
 教育開始前、教育計畫ヲ提出スルモトス
 四、兵器科、爆破教育ニ要スル資材ヲ交付スベシ
 五、予ハ古堅國民學校ニ在リ
 中頭郡隊長 美田大佐
 下達法、手書ヲ傳、後印刷交付

晴
宿營地
沖繩縣
中頭郡
嘉手納町
吉里國民
学校内

1. 衛兵服務要領を如く改め
 1. 起床時限より夕食時限迄歩哨ハ表内五名之哨スル
 モントス
 2. 横外ノ時同於テハ表内ヲ閉
 ナリ兵舎、四圍ヲ警戒セキルモントス
 3. 消燈後於テハ控兵ハ歩哨一司令者若クハ歩哨掛一
 員ヲ命ジテハ兵舎ノ警備スルコトヲ得
 4. 司令ハ止ム得ヤレハ兵長ヲ以テ當ルコトヲ得
 2. 衛兵ノ差出已分テ如ク改め
 21日 工兵
 22日 連射砲
 23日 隊隊長
 24日 通信
 25日 連射砲
 26日 通信
 27日 通信
 28日 通信
 29日 通信
 30日 通信
 31日 通信
 1月 通信
 2月 通信
 3月 通信
 4月 通信
 5月 通信
 6月 通信
 7月 通信
 8月 通信
 9月 通信
 10月 通信
 11月 通信
 12月 通信

陸軍

七月二十日	北村 中尉	石川 曹長
七月二十一日	岡澤 大尉	堀井 曹長
七月二十二日	藤本 中尉	中田 曹長
七月二十三日	藤本 中尉	中田 曹長
七月二十四日	藤本 中尉	中田 曹長

部隊ハ七月二十日ヨリ發給許可ス
 依テ通知スベシ
 表内宛名
 沖繩縣那霸郵便局宛付
 球第土八三六部隊北村隊
 2. 一般ノ葉書トシテ封書ハ副官中隊長ノ許可ヲ得ル場合
 限ル
 3. 検閲ハ隊隊長本部ニ在リテハ副官控在中隊ハ中隊長
 兼テシテ得ヤル場合ハ検印届キテ先任將校トス
 4. 依頼局ハ七ノ通リトス

吉野國民	嘉手納町	中頭郡	宿營地	白曜日	晴	宿營地	中頭郡	嘉手納町	吉野國民
六月廿四日	六月廿五日	六月廿六日	六月廿七日	六月廿八日	右通一服務	第一小隊(二分隊欠) 第四中隊 協力洞窟掩蔽部、補強	第二小隊(二分隊欠) 第五中隊 協力洞窟掩蔽部、補強	第三小隊(二分隊欠) 第六中隊 協力洞窟掩蔽部、補強	第四小隊(四分隊) 及 指揮班、吉野國民學校 北方(百米) 掩
新井	井上	新井	井上	新井		北 伍長	北 伍長	安川	依藤
准尉	少尉	准尉	少尉	准尉				伍長	伍長

陸軍

學校	宿營地	中頭郡	嘉手納町	吉野國民	學校
六月廿四日	六月廿五日	六月廿六日	六月廿七日	六月廿八日	六月廿九日
蓋機南鏡座、構築	一中隊長 北村中尉 重務建路、及那霸市、出張 即日 帰宿	第一小隊(二分隊欠) 前日、引續、第四中隊 協力洞窟 掩蔽部、補強作業	第二小隊(二分隊欠) 前日、引續、第五中隊 協力洞窟 掩蔽部、補強作業	第三小隊(二分隊欠) 第六中隊 協力洞窟掩蔽部、補 強作業	第四小隊(四分隊) 及 指揮 吉野國民學校 北方(百米) 掩蓋 機南鏡座、構築
工中作令 第十號					吉野國民學校

五兵中隊命令

陸軍任長

六安川 傳

本隊中隊現作業ヲ徹シ爾后小隊長ノ指揮下ニ入ルン

中隊長 地糧中尉

下達要字引任長白達

一 第一小隊(二分隊欠)前日引續キ 第四中隊ニ協力洞窟掩

蔽部ノ補強作業ニ任ス

二 第二小隊(二分隊欠)前日引續キ 第五中隊ニ協力洞窟掩

蔽部ノ補強作業ニ任ス

三 第三小隊(二分隊欠)前日引續キ 第六中隊ニ協力洞窟掩

蔽部ノ補強作業ニ任ス

四 第四小隊(四分隊)及指揮班 古堅国民学校北方(百米)掩

蔽蓋機銃銃座ノ構築ス

陸軍

民学校内

納古堅国

頭部嘉

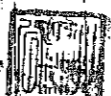
沖繩縣中

宿營地

晴

火曜

五月二十日



三月二十日
水曜日
曇
宿營地
沖繩縣
十頭郡
嘉手納町
古堅國民
学校内

一 第一小隊(二分隊欠)前日引續キ 第四中隊ニ協力洞窟掩

蔽部ノ補強作業ニ任ス

二 第二小隊(二分隊欠)前日引續キ 第五中隊ニ協力洞窟掩

蔽部ノ補強作業ニ任ス

三 第三小隊(二分隊欠)前日引續キ 第六中隊ニ協力洞窟掩

蔽部ノ補強作業ニ任ス

四 第四小隊(四分隊)及指揮班 古堅国民学校北方(百米)掩

蔽蓋機銃銃座ノ構築ス

五 命 第三大隊

獨之混成第一五聯隊命令

陸軍中尉 北村 公

本隊日事務連絡ノ為軍司令部ニ出張命令(即日歸隊)

六 獨混一五作命 第十四號

五月二十六日
古堅国民学校

中頭地三隊命令

一 兵隊長ハ北谷附近陣地指導、第二兵一分隊、北谷村
ニ差出シ、警備隊、實施セル陣地、構築ニ任セルベシ

中頭地三隊長 美田大佐

二 工中作命 第十一號

古里国民学校

二 兵中隊命令

一 中隊ハ一分隊ヲ以テ北谷附近陣地指導、警備隊、
實施セル陣地、構築ニ任セルベシ

二 廣川兵隊長部下分隊ヲ以テ明テ古里北谷村到リ、警備隊
ノ實施セル陣地構築ニ任セルベシ

中隊長 北村中尉



二月二十日
水曜日

一 第一小隊(一分隊欠)前日ニ引續キ、第四中隊ニ協力洞窟
掩蔽部ノ補修作業ニ任ス

陸軍

墨後西

二 第二小隊(一分隊欠)前日ニ引續キ、第五中隊ニ協力洞窟
掩蔽部ノ補修作業ニ任ス

宿营地

三 第三小隊(一分隊欠)前日ニ引續キ、第六中隊ニ協力洞窟
掩蔽部ノ補修作業ニ任ス

中頭地

四 第二小隊(四分隊)及指揮班 古里国民学校北方(百米)掩蓋
機南鏡座構築

嘉手納町

五 命令 第三十號

古里国民

獨之混成第一五聯隊命令

学校内

北村隊 陸軍 曹長 石川 欽二郎

右資金前渡官吏陸軍主計大尉 榊素雄 取扱分任

官命令

二月二十日	日 司 令	日 直 副 官
二月二十日	杉 浦 中 尉	岡 田 軍 曹
二月二十九日	北 村 中 尉	石 川 曹 長

六月二十日	古川 中尉	堀井 曹長
六月二十日	藤本 中尉	市川 曹長
八月一日	杉浦 中尉	野田 曹長
八月二日	北村 中尉	石川 曹長
八月三日	古川 中尉	野田 曹長
八月四日	藤本 中尉	市川 曹長

古、如、服務スル

六、第一小隊、第四分隊、北谷村、到リ、警備隊、實施セル作業ヲ實施シ、予定ナリニモ、取隊、転進、用スル要旨命令ニ基キ中止ス。

七月十八日

全曜日

曇

宿營地

一、午前、第一小隊(二分隊欠)前日ニ引續キ、第四中隊ニ協力洞窟掩蔽部、補強作業ニ任ス。
 二、第二小隊(二分隊欠)前日ニ引續キ、第五中隊ニ協力洞窟掩蔽部、補強作業ニ任ス。

陸軍

沖繩縣
 中頭郡
 嘉手納町
 古堅国民
 学校内

一、第三小隊(二分隊欠)前日ニ引續キ、第六中隊ニ協力洞窟掩蔽部、補強作業ニ任ス。
 二、第一小隊、第四分隊及指揮班、古堅国民学校北方(百米)掩蓋機、筒鏡、構築ス。

七月二十一日 一四〇〇
 古堅国民学校

二、二中作命、第十二號
 三、兵中隊命令
 一、取隊、近ク転進ス。
 二、中隊、第八、第二大隊洞窟掩蔽部補強作業、其ニ北谷陣地構築作業ヲ中止シ、古堅国民学校ニ集結セントス。
 三、第一小隊、八連ガニ、現作業ヲ中止シ、晝食以後、器材整理シ、帰還スベシ。
 四、第一、第三小隊ハ、本夕食後、其ノ半数、器材ヲ携行セシムル他、主カハ、明朝食後、残務整理ヲ實施シタル後、帰還スベシ。
 帰還人員区分ハ、明瞭ナラズ。

下達法要旨傳へ後小隊中隊長
 三午後 1. 第一小隊(二合隊) 一六〇〇帰隊ス
 2. 第二小隊山領軍曹以下三名全隊トシテ一六三〇帰隊ス
 残余、残務整理

3. 第三小隊藤本少尉以下二十名トシテ一六三〇帰隊ス
 残余、残務整理

四 後部人員 小岩井伍長以下二十名トシテ一六三〇到着ス
 残余、土肥一等兵以下四名 那西那ニ器材監視、タメ残留ス

五 第一小隊 西上等兵以下五名 衛兵(器材監視) トシテ一七三〇
 嘉手納駅ニ差出ス

六 第二小隊 第四分隊 器材作製、タメ資材、鬼集
 中隊命令

月日 日直下士官
 六月五日 新井 准尉 恒叶 伍長

陸軍

六月五日	井上 少尉	安川 伍長
六月五日	村上 少尉	坂口 伍長
八月一日	藤本 少尉	山領 軍曹

若通、服務スレ

六月二十九日 一 第二小隊 村上少尉以下二十三名 残務終了 一六三〇帰隊ス

土曜日 二 第三小隊 関口伍長以下二十名 残務終了 一七三〇帰隊ス

曇後雨 三 井上少尉以下九名 比謝町 鍛冶工場ニ於テ器材作

宿營地 四 午後 藤本少尉以下五十名 大砲發射器 使用演練

沖繩縣 五 安川伍長以下四十名 午前午後共 嘉手納駅ニ於テ器材

中頭郡 卸下ニ任ス

嘉手納町 六 藤本少尉以下百二十名 一八〇〇 器材卸下、爲 嘉手納駅ニ至リ

吉里國民 一五〇〇 帰隊ス

学校内 残余ノ人員 転進準備

六月三十日

日曜日

暴風雨

宿营地

冲繩縣

中頭郡

嘉手納町

吉堅國民

学校中

一井上少尉以下九名前日引續キ比謝所鍛冶工場ニ於テ
器材ノ作製

二年前、領軍曹以下五名嘉手納取ニ於テ器材、卸下ニ任ス

午後、関口佐長以下五名午前引續キ嘉手納取ニ於テ器材、
卸下ニ任ス

三後、参人員トシテ那覇市ニ於テ残務整理中、全肥一軍兵以下四名
一上、到着ス

四、日命 第三九號

獨ニ混成第一五隊隊曰々命令

一、本職明三曰ヨリ三泊ノ予定ヨリ本部村伊江島方面ニ出張ス

二、

陸軍大尉 岡澤 実

陸軍少尉 榎 素雄

陸軍中尉 北村 公

陸軍

陸軍中尉 廣井 忠雄

陸軍少尉 建石 五郎

陸軍中尉 斎藤 忠雄

陸軍中尉 高野 久

陸軍中尉 久二郎

右本職ニ隨行ヨリ命令ス

5. 北村隊

陸軍中尉 高野 久

4. 本日到着セル 梱包整理ノタメ各中隊(通信ヲ含メ)下ニ官以下

陸軍中尉 久二郎

3. 本日到着セル 梱包整理ノタメ各中隊(通信ヲ含メ)下ニ官以下

2. 本日到着セル 梱包整理ノタメ各中隊(通信ヲ含メ)下ニ官以下

1. 本日到着セル 梱包整理ノタメ各中隊(通信ヲ含メ)下ニ官以下

0. 本日到着セル 梱包整理ノタメ各中隊(通信ヲ含メ)下ニ官以下

本人員中ニハ本日到着セル後参着ヨリ含マズ

